

「国際金融都市・東京のあり方懇談会」の設置について

1. 懇談会設置の趣旨・目的

- ▶ 経済の血液たる金融の活性化は、ロンドン、ニューヨークの例を待つまでもなく、都市の魅力や競争力の維持のために不可欠であり、東京の成長戦略の中核となる。
- ▶ 一方で、金融の活性化について、これまで何度も検討や取組が進められてきたが必ずしも十分な効果が上がっているとは言い難く、同じアジアの香港・シンガポールの発展などもあり、国際的な競争環境はより厳しさを増している。
- ▶ アジア・ナンバーワンの国際金融都市の地位を取り戻すには、今回がラストチャンスとの危機感をもって、構造的・本質的な課題にまで踏み込み、克服の方策を見出していかなければならない。
- ▶ このため、「国際金融都市・東京のあり方懇談会」を設置し、金融の活性化や海外の金融系企業が日本に進出するに当たって障害となる課題について幅広く洗い出し、その解決に向けた抜本的対策について議論を行う。
- ▶ 懇談会は、それぞれの課題について、誰がどのようなスケジュールで対応していくかを明らかにしつつ提言を取りまとめ、東京都は、その提言を踏まえ、東京国際金融都市構想（仮称）を策定する。

2. スケジュール

2016年11月25日	第1回懇談会
2017年1月～4月	1か月に1回程度開催
5月	懇談会中間提言（→東京都としての構想骨子案策定）
11月	懇談会最終提言（→東京都としての最終構想策定）

3. 各回の進行

- ▶ 第1回懇談会で今後検討すべき論点を議論し、第2回以降は、それらの論点を中心に、「国際金融都市・東京」の実現に向けた課題や解決策、東京市場の国際化を妨げていると考えられる論点等について、各回2、3名の委員が10分程度のプレゼンテーションを行い、その後、出席者の間で意見交換を行う。
- ▶ プレゼンテーション資料は、可能な限り日・英両言語で作成し、当日の議論を円滑に進めるため、事前に出席者に共有する。

4. 対外発信・情報公開

議事は公開し、後日東京都ホームページに議事録及び資料を掲載。